

様式1 (視察用)

会派行政視察報告書

平成29年度会派 公明名取 の行政視察研修を、平成30年2月16日(金)に執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成30年 3月 28日

名取市議会議長 丹野 政喜 様

会派名 公明名取
代表 菊地 忍



記

1 期 日 平成30年 2月16日 (金)

2 参加人員 2 名 (氏名) 菊地 忍
菅原 和子

3 視察先 (1) 福島県本宮市

4 行程表 別紙のとおり

5 調査事項 別紙のとおり

6 所 感 別紙のとおり



「公明名取」会派視察行程表

平成30年2月16日

<p>2/16</p>	<p> 仙台駅 8:24 東北新幹線 やまひこ126号 郡山駅 8:59 9:25 JR東北本線 本宮駅 9:38 視察後 昼食及び街並み視察 本宮駅 15:06 JR東北本線 福島駅 15:40 15:45 JR東北本線 名取駅 16:54 </p>	<p> 福島県本宮市 視察 10:00~12:00 〒969-1192 本宮市本宮字万世212 TEL 0243(24)5435 議事事務局 橋本 様 </p>

【福島県本宮市 保健課の取り組みについて】

公明名取会派視察

菊地 忍

菅原 和子

【視察先】 福島県 本宮市

【視察日時】 平成30年2月16日（金） 10:00～12:00

【人口】 31,370人

【地勢】 本宮市は、福島県の中央部にあって、郡山市の北部に位置しており、東は三春町、南と西は郡山市、北は大玉村・二本松市に接しています。

市のほぼ中央部には東北地方を代表する名川・阿武隈川が北流し、平地には市街地、農地が広がっています。東部には、阿武隈川系の岩角山、高松山、岳山などの山並みや丘陵地、農地が広がり、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有し、水と緑の豊かな自然に恵まれています。

気候は比較的温暖で、年間の平均気温は12～13℃、年間総降雨量1000ミリ程度になっています。

市域の広がり、東西17.9km、94平方キロメートルで総面積は、87.94平方キロメートルとなっている。

【1】 健康力アップ応援事業 ボディリメイクについて

(1)目的

生活習慣病の重症化防止を目的に、個人に対するハイリスクアプローチに加え、地域住民に対するポピュレーションアプローチにより、市民の健康的な生活習慣の定着を図り、健康づくりの意識向上を高めることが必要である。

本事業では、定期的な運動や筋肉トレーニングを通して、健康への意識を高め、運動の習慣づけを行うことにより、市民の生活習慣病の発症や重症化予防を図ることを目的に実施している。

(2)これまでの実績と成果

平成21年から、30代からの生活習慣病の予防を目的に開始。講師に高知大学 医学部 准教授 都築茂樹氏（当時）を招き、本宮商工会青年部やNPO法人生涯学習プロジェクトもとみやなどを対象として夜間に開催した。

平成23年度からは、NPO法人生涯学習プロジェクトもとみやと委託契約を結び、所属する運動指導士に講師を依頼。幅広い世代への運動習慣の定着と生活習慣病の予防を目的に実施。開催時間帯を、夜の部と昼の部の2部に変更。

平成27年度からは、運動指導士に直接講師の依頼を実施。また、参加者の主な年代が60代以上であり、夜の部の参加者が少ないことから、開催時間帯を昼の部のみに変更。

対象者：一般市民

実施回数：月2回 年間24回実施

講師：運動指導士1名

内容：ヨガとストレッチを中心とした筋肉アップトレーニング

参加者：平成25年 492名

平成26年 909名

平成27年 1078名

平成28年 1110名

平成29年 912名（1月末時点）

講師謝礼：10,000×月2回×12ヵ月

(3)今後の課題

本事業は、定着しており、継続参加率も維持している。しかし、平成28年度実施した第二次健康増進・食育推進計画策定のための市民意識調査からは、運動の定着化や取り組みに個人差が大きいことが伺えたため、今後も運動に対する意識の向上と継続した運動習慣の定着を目指し、多くの市民が気軽に参加できる講座として、講師と運動メニューを検討しながら実施する。

【2】妊婦教室「パパ・ママ教室」について

(1)内容

- ・妊娠届け出をした夫婦とその家族（各組8組、初妊婦優先）
- ・出産準備と育児、赤ちゃんのお風呂の入れ方、絵本の読み聞かせの大切さについて
年5回（平日開催3回 日曜開催2回）
- ・妊娠中の過ごし方（歯・栄養）参加状況
平成28年度 夫婦：9名 夫：1名
平成29年度 夫婦：7名 夫：4名

・出産準備と育児（沐浴）参加状況

平成28年度 夫婦：9名 夫：7名

平成29年度 夫婦：7名 夫：4名 祖母：1名

(2) 今後の課題

妊娠中の栄養や歯の手入れの回の参加者が少ないことから、関心の低さを感じる。栄養や歯については、子どもの食育や生活習慣病予防につながることから、参加を勧奨する。

【3】 新生児聴覚検査について

(1) 事業実施に至る背景

新生児聴覚検査については、平成19年度より市町村に対し地方交付税措置がなされていたが、福島県では、平成24年度から市町村に代わり県が検査費用の助成を行っていた。平成29年度からは、県内全ての市町村において検査費用の助成が行われるよう体制が整い、市町村が実施主体として実施することとなった。

(2) 市助成額

検査委託料 @2, 500×250人=625, 000

審査支払事務手数料 @48×1回×250人=12, 000

これまでの実績（平成29年4月～12月分）

<初回検査>

対象者⇒154人

受診者・自動ABR⇒140人（県内136人・県外4人）

受信者・OAE⇒6人（県内4人・県外2人）

受診率⇒94.8%

<確認検査>

対象者⇒13人

受診者・自動ABR⇒12人（県内12人）

受診者・OAE⇒1人（県内1人）

<再確認検査>

対象者⇒1人

受診者・自動OBR1人（県内1人）

※精密検査受診者1名 左伝音難聴にて療育開始

(3) 今後の課題

未受診者に対しては、生後3か月まで検査できる医療機関もあるため、乳児全戸訪問時に受診勧奨しているが、出産後入院中に検査するように母子健康手帳発行時に検査の必要性を説明し勧奨する。

【4】 親と子の健康相談・発達相談について

(1) 目的

妊娠期、乳幼児期、思春期を通して、個別相談と保健指導を行い、異常の早期発見と早期治療に結びつけるとともに、子育てに対する育児不安を軽減し、心と体の健康管理の向上を図ることを目的とする。

(2) 事業の内容

● 親と子の健康相談

実施回数等：月に1回（年間11回） 実施 受付時間：午前10時～11時

対象者：妊婦、子どもと保護者、各乳幼児健診や相談における要観察児とその保護者等

内容：保健師による個別相談、栄養士による離乳食・栄養相談、身体計測等

● 親と子の発達相談

実施回数等：月に1回（年間12回）

午後1時～4時に開催（1ケース1時間の3枠完全予約）

対象者：乳幼児から18歳までの子どもの発達で不安、心配のある保護者

内容：発達支援アドバイザーによる個別の発達相談

スタッフ：発達支援アドバイザー、保健師(必要に応じて同席)

報償費：@10,000×13回（予備1回含む）

(3) 事業の実績

● 親と子の健康相談

毎月身長体重を測定しながら、その時々悩みを相談する方が多い。離乳食が始まれば、離乳食の進め方や食材の取り入れ方の悩みも多い。また、乳幼児の利用者の中には健診の事後として言葉の伸びや発達の確認で来所を促しているケースもある。

平成27年度：乳児51人 幼児67人

平成28年度：乳児46人 幼児35人

※平成28年相談の内訳

発育・発達：乳児83人（57.3%） 幼児48人（68.6%）
保育・養育（離乳食相談）：乳児41人（28.3%） 幼児19人（27.1%）
病気・健康：乳児21人（14.5%） 幼児3人（4.3%）

●親と子の発達障害

利用者は保育所や幼稚園、小学校など集団に入ってから相談に来所する方が多い。発達が遅れているのではないか、自閉症ではないか、幼稚園や学校から指摘があったがどうなのかなど様々な保護者の不安や悩みの相談がある。

平成27年度：乳児0人 幼児5人 小中高5人

平成28年度：乳児0人 幼児5人 小中高6人

【考 察】

本宮市は福島へのそ、陸の港と言われている福島の中央部に位置する。

「住みよさランキング」については、名取がランキング1位になる前は、9年連続本宮市だったとの事である。

福島原発をかかえる福島は、震災後外に出かけることが少なくなった傾向にあり、小さいお子さんから大人まで室内で運動不足が解消できるようにと、設備が充実している。

特にスマイルキッズパークには、室内に砂場があり海外から取り寄せた固まる砂が用意されていたり、アスレチックもできるなど、子どもさんが1日いても満足できる設備が整っていた。

本宮市が取り組んでる新生児聴覚検査については、94.8%受講しており、早期に診断し療育開始できることから、本市においても早期に取り組むことを望みたい。

